

平成29年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	05	26	15	05	子育て支援事業費			
担当			所属コード		所属名			担当者	連絡先
			675000		地域ケア推進担当/保育所等・地域連携			相原/飯村/窪井	64813/64851

事業の概要							
事業の概要		<ul style="list-style-type: none"> 子ども・子育てに関する講座等を開催する 初めての赤ちゃんを育てる母親の育児に対する不安感、孤立感を軽減し、早い時期から子育ての仲間作りができる場を提供する 川崎市助産師会と連携し、初めて母親・父親になる保護者で平日に参加できない方を対象とし、プレパパ・プレママ講座を実施する 					
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業	総合的な子ども・子育て支援事業費		
		平成27年度	—				
地域の課題と現状		高津区は市内でも年間の出生数や子育て世代の転入が多い、そのため慣れない地域での子育てに不安感や孤立感を抱えての育児を防ぎ、当事者の育児力を向上させるため、地域ぐるみで支援を行う必要がある。また、共働き世帯の増加により父親の育児参加の促進が必要である。					
予決算 (単位:千円)		年度	H27年度		H28年度		H29年度
			予算額	決算額	予算額	決算額	予算額 決算額
		事業費	645	558	676	471	908 751
財源内訳		国庫支出金					
		市債					
		その他特財					61
		一般財源	645	558	676	471	908 690

計画 (Plan)	
事業の目的	子育て中の親子等が交流・学習する機会やさまざまな場の提供をし、父親の育児参加の促進や子育て力の向上を図り、子どもが健やかに育ち、子育てしやすいまちづくりを目指す。
今年度の事業の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 子ども・子育て支援講座(10月、11月に月2回実施) 親育ち支援事業(6月、10月、2月に各4回/月実施) 初めて保護者になる人向け講座「もうすぐパパママハッピー講座」を開催(6月、10月、1月に各1回/月実施)

実施結果 (Do)									
上記取組内容に対する達成度	3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり		4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った				
取組内容の実績等	<ul style="list-style-type: none"> 子ども・子育て支援講座は、父親の育児参加促進講座を4回連続講座として実施。親子12組参加 親育ち支援事業は、4週連続の参加型講座を3回実施。計母子55組が参加 初めて保護者になる人向け講座は、「もうすぐパパママハッピー講座」を開催(6月、10月、1月) 								
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標			H27年度	H28年度	H29年度	単位	
	1 活動指標	子育て支援講座	目標	/			3	4	回
			実績	3			4	4	
	2 活動指標	親育ち支援事業(4週連続講座)	目標	/			3	3	回
			実績	3			3	3	
3 活動指標	もうすぐパパママハッピー講座	目標	/			3	3	回	
		実績	3			3	3		
4		目標	/						
		実績							

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化	高津区は市内でも年間の出生数や子育て世代の転入が多く、人口の増加も予測されている状況にある。その中で子育てに対する不安や孤立した育児を防ぎ、子育て当事者の育児力向上させるため、育児の基礎知識習得や子どもの成長・発達など子育てに関する課題の学習、父親の育児参加を促進させることが必要とされている。		
事業の見直し・改善内容	<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 今後実施(平成 30 年度から)		
	具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		
	もうすぐパパママハッピー講座については、一定の効果が認められるものの市で実施している助産師会への委託事業と重複しているため終了とする。		
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	高津区は市内でも年間の出生数や子育て世代の転入が多く、人口の増加も予測されている状況にある。その中で子育てに対する不安や孤立した育児を防ぎ、子育て当事者の育児力向上させるため、育児の基礎知識習得や子どもの成長・発達など子育てに関する課題の学習、父親の育児参加を促進させることが必要とされている。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	講座の開催を通じ、子育てに対する不安や孤立した育児を防ぎ、育児の基礎知識習得や子どもの成長・発達など子育てに関する課題の学習、父親の育児参加を促進により子育て当事者の育児力向上させることが出来た。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	a
	評価の理由	今年度一部事業の改善を行ったため、現在の事業執行体制が適当であると考えている。	

改善 (Action)			
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II	子育てに対する不安や孤立した育児を防ぎ、子育て当事者の育児力向上させるため、育児の基礎知識習得や子どもの成長・発達など子育てに関する課題の学習、父親の育児参加を促進させる。

平成29年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	05	26	15	10	子育てネットワーク推進事業費			
担当			所属コード		所属名			担当者	連絡先
			675000		地域ケア推進担当/保育所等・地域連携			飯村/大平	64813/64851

事業の概要								
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> 区内の子ども・子育てに関わる関係機関・団体等が情報交換や課題の共有等を行い、ネットワークの推進を図る 子育て世代の転入者に向けて、地域情報・子育て情報の提供と参加者同士が交流できる場を提供する 幼稚園・保育園・小学校がお互いの保育・教育内容について理解を深め、発達の連続性を踏まえた子どもの育ちの支援を行う 							
実施期間	事業開始年度	事業終了年度	予算中事業					
	平成27年度	—			総合的な子ども・子育て支援事業費			
地域の課題と現状	<ul style="list-style-type: none"> 高津区は出生数、子育て世代の転入者が多い。知り合いのいない慣れない地域で孤立感、不安感を抱えた保護者に対し、地域や子育て関係施設と連携して支援を行い、子育てしやすいまちづくりを目指す必要がある 子どもの育ちの連続性を踏まえるためには、中学校との連携も視野に入れた幼保小中連携推進事業を推進する必要がある。引き続き、課題に対応できる関係機関にアプローチしていく 							
予決算 (単位:千円)	年度		H27年度		H28年度		H29年度	
			予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費		708	552	846	522	1,180	875
	財源内訳	国庫支出金						
		市債						
		その他特財						
		一般財源	708	552	846	522	1,180	875

計画 (Plan)	
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> 区における子ども・子育て支援を進めるために、地域の関係機関等が連携し、子育て親子の交流の場の提供や区内の子ども・子育て支援のネットワークの推進を図ることで子育てしやすいまちづくりを目指す 幼保小連携推進事業…認可認定保育園、幼稚園、小学校の職員相互の理解の深化、幼児・児童の交流の推進、保育・教育の内容の情報共有を図る
今年度の事業の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 子ども・子育てネットワーク会議…子どもに関わる団体、関係機関等による会議、および各課題に応じた部会を開催し、情報交換や課題の共有、協議等を行う 転入者子育て交流会を開催し、地域の子育て情報の提供や参加者同士の交流の場を提供する 幼保小連携推進事業…代表者連絡会2回、園長校長連絡会、実務担当者会議、講演会、小学校の行事参観15校、実習研修、スタートカリキュラム2校、小学校授業参観、懇談会15校を実施

実施結果 (Do)							
上記取組内容に対する達成度	3	<ol style="list-style-type: none"> 目標を大きく上回って達成 目標を上回って達成 ほぼ目標どおり 目標を下回った 目標を大きく下回った 					
取組内容の実績等	<ul style="list-style-type: none"> ネットワーク会議は、本会議4回、情報部会3回(子育て情報ガイドブックの編集等)、子育てグループ支援部会5回(子育てグループ交流会の企画実施、子育てグループの活動上の課題把握等)、研修・企画部会3回(研修会の企画実施)を開催した。 転入者子育て交流会は、春3回、秋3回、0歳と1～2歳に分け実施した。秋開催には春の参加者に協力者の立場で参加してもらい、経験談などアドバイスしてもらった。 幼保小連携推進事業は、代表者連絡会2回、園長校長連絡会、実務担当者会議、講演会、小学校の行事参観15校、実習研修、スタートカリキュラム2校、小学校授業参観、懇談会15校を実施したのに加え、今年度は中央支援学校での授業参観懇談会を実施した。 						
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標		H27年度	H28年度	H29年度	単位
	1	活動指標	転入者子育て交流会の開催	6	6	6	回
	2	活動指標	子ども・子育てネットワーク会議の開催	4	4	4	回
	3						
	4						

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化	高津区は市内でも年間の出生数や子育て世代の転入が多く、子育て当事者の子育てに対する不安や孤立した育児を防ぐために、地域の関係機関や団体等と連携し、地域とのつながりをつくる場の提供や、子ども・子育て支援のネットワークの推進を図る必要がある。		
事業の見直し・改善内容	<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(平成 年度から)		
	<small>具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載</small>		
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	高津区は市内でも年間の出生数や子育て世代の転入が多く、子育て当事者の子育てに対する不安や孤立した育児を防ぐために、地域の関係機関や団体等と連携し、地域とのつながりをつくる場の提供や、子ども・子育て支援のネットワークの推進を図る必要がある。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	区民、関係機関、団体等と協働で区内の子ども・子育て支援について協議し、各事業を協働して実施した。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	a
	評価の理由	現在の事業執行体制が適当であると考えている。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II
実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性		
子ども・子育てネットワーク会議については、今後のネットワークの担い手発掘に努めるとともに地域の子育て環境の変化に対応した部会のあり方等について検討し、部会の活性化を図るよう努めながら継続実施していく。幼・保・小連携推進事業では、会議や実習等で情報共有を図り、相互の理解を深めながら事業推進していく。転入者子育て交流会では、常にニーズの把握に努めるとともに、支援の輪を広げ子育て世代のつながりが継続できるよう工夫していく。		

平成29年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	05	26	15	15	子育て情報発信事業費			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			675000		地域ケア推進担当/保育所等・地域連携		瀬戸/大平	64814/64851	

事業の概要								
事業の概要		子育て中の区民のニーズに合った地域の子育て情報をさまざまな手段で得られるよう、子育てガイドブックや情報誌などを発行するとともに、ホームページやアプリなどを通じて情報の提供を行う。						
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業	総合的な子ども・子育て支援事業費			
		平成27年度	—					
地域の課題と現状		高津区は市内でも年間の出生数や子育て世代の転入が多く、人口の増加も予測されている状況にある。その中で子育てに対する不安や孤立した育児を防ぎ、親子が安心して暮らせるように地域の子ども・子育て情報をさまざまな手段を通じて広く提供することが必要である。						
予決算 (単位:千円)		年度	H27年度		H28年度		H29年度	
			予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
		事業費	2,031	1,850	2,437	1,958	1,797	1,600
財源内訳		国庫支出金						
		市債						
		その他特財						
		一般財源	2,031	1,850	2,437	1,958	1,797	1,600

計画 (Plan)	
事業の目的	子育てに対する不安や孤立した育児を防ぎ、親子が安心して暮らせるように適切な子育て情報の提供を行う。
今年度の事業の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 区内地域子育て支援センターリーフレットの発行 子育て情報ガイドブック及びホームページの作成・更新 地域子育て情報紙「あつたかつうしん」の発行

実施結果 (Do)								
上記取組内容に対する達成度	3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり		4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った			
取組内容の実績等	<ul style="list-style-type: none"> 区内地域子育て支援センター8ヶ所を紹介したリーフレットを修正印刷し、8月に7,000部発行。 情報ガイドブック「ホッとこそだて・たかつ」の情報を更新し、7月に8,000部発行。ホームページは随時更新 子育て情報紙「あつたかつうしん」を年間6回、各2,000部発行 							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標			H27年度	H28年度	H29年度	単位
	1 活動指標	区内地域子育て支援センターリーフレットの発行	目標	実績	5,000	8,000	7,000	部
	2 活動指標	子育て情報ガイドブックの発行	目標	実績	8,000	7,000	8,000	部
	3 成果指標	ホッとこそだてたかつホームページアクセス数	目標	実績	9,042	9,428	7,796	件
	4 活動指標	地域子育て情報紙「あつたかつうしん」の発行年間6回	目標	実績	各2,500	各2,500	各2,000	部

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化	高津区は市内でも年間の出生数や子育て世代の転入が多く、人口の増加も予測されている状況にある。その中で子育てに対する不安や孤立した育児を防ぎ、親子が安心して暮らせるように地域の子ども・子育て情報をさまざまな手段を通じて広く提供することが必要である。		
事業の見直し・改善内容	<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 今後実施(平成 30 年度から)		
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載	他の情報媒体があるため「あつたかつうしん」の発行は終了。		
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	高津区は市内でも年間の出生数や子育て世代の転入が多く、人口の増加も予測されている状況にある。その中で子育てに対する不安や孤立した育児を防ぎ、親子が安心して暮らせるように地域の子ども・子育て情報をさまざまな手段を通じて広く提供することが必要である。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	紙媒体やホームページ等さまざまな形で情報提供することで、広く情報発信・提供することが出来た。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	a
	評価の理由	現在の事業執行体制が適当であると考えている。	

改善 (Action)			
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II	子育て中の区民のニーズに合った地域の子育て情報を、手段などを精査しながらガイドブックやホームページを通じて、より親子のニーズに合った情報を提供する。

平成29年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	05	26	15	20	高津区子ども・子育てフェスタ事業費			
担当			所属コード	所属名		担当者	連絡先		
			675000	地域ケア推進担当		飯村	64813		

事業の概要

事業の概要	地域における子育て関係機関・団体等や区民と協働し、高津市民館全館で終日、子育て関連のイベントや子育てグループ・サークル等の紹介、親子交流の場の開催、保育園児の作品展示などを実施する。						
実施期間	事業開始年度	平成17年度	事業終了年度	—	予算中事業	総合的な子ども・子育て支援事業費	
	子育て中の保護者の不安や悩みが多様化しているが、孤独感を感じず、子育てを楽しめるよう地域全体で子育て支援を行っていく必要がある。						
地域課題と現状	年度	H27年度		H28年度		H29年度	
	事業費	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
予決算 (単位:千円)	国庫支出金	500	431	500	348	469	371
	市債						
	その他特財						
	一般財源	500	431	500	348	469	371

計画 (Plan)

事業の目的	各種子育てグループ・子育て支援団体等の活動展示・イベント等を実施し、地域の子育て情報を提供することにより、高津区における市民と行政との協働による子どもの育ちを地域で支えるネットワーク作りの一助とする。
今年度の事業の取組内容	・地域の子育て支援機関、団体、子育てグループ、地域子育て支援センター等の活動内容の展示及びチラシ等による子育て中の保護者や子育て支援に関心のある区民等への情報提供 ・子育て中の保護者等参加者が交流を深めることができるイベント、親子で楽しめるイベントの開催

実施結果 (Do)

上記取組内容に対する達成度	3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った					
取組内容の実績等	11月18日に高津区子ども・子育てフェスタを開催。乳幼児から小・中学生の子どもとその保護者を対象に、子育てグループ、子育てを支援する団体・機関などを紹介する展示、コンサートなど子ども向けの催し物を開催。来場者1,700人、参加団体73団体。						
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標	H27年度	H28年度	H29年度	単位	
	1 成果指標	子育てフェスタ(来場者)	目標	/	2,300	2,300	人
			実績	2,300	1,500	1,700	
	2		目標	/			
			実績				
3		目標	/				
		実績					
4		目標	/				
		実績					

評価 (Check)

事業を取り巻く社会環境の変化	高津区は市内でも年間の出生数が多く、また子育て世代の転入が多い中、地域での子育ての仲間作りが出来ず、育児不安を持つ区民がいることから、地域の子育ての仲間作りにつながる情報を提供し、子育ての不安をひとつでも取り除けるような場を提供する必要がある。また、地域の子育て支援機関や団体及びイベント出席団体との協働により、地域全体で子育てを支えている意識の向上を図ることも必要である。		
事業の見直し・改善内容	<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(平成 年度から)		
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載			
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	高津区は市内でも年間の出生数が多く、また子育て世代の転入が多い中、地域での子育ての仲間作りが出来ず、育児不安を持つ区民がいることから、地域の子育ての仲間作りにつながる情報を提供し、子育ての不安をひとつでも取り除けるような場を提供する必要がある。また、地域の子育て支援機関や団体及びイベント出席団体との協働により、地域全体で子育てを支えている意識の向上を図ることが必要である。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	乳幼児から中学生まで幅広い年齢の子どもが参加し、父親の参加も多くなりました。フェスタの開催を通じて関係団体等との連携・ネットワーク強化が図られ、区民への情報提供に生かすことができました。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	a
	評価の理由	現在の事業執行体制が適当であると考えている。	

改善 (Action)

今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II	子ども・子育てフェスタは今年度で13回を迎え、当区における子ども・子育てのイベントとして定着している。今後催しの内容や実施方法等について、引続き見直しを行っていく。

平成29年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード					地域課題対応事業 予算小事業名称				
款	項	目	大	中	小				
11	01	05	26	15	25	子育てグループ等活動促進事業費			
担当			所属コード	所属名		担当者	連絡先		
			675000	地域ケア推進担当・保育所等・地域連携		相原/瀬戸	64814/64852		

事業の概要

事業の概要	高津区における子ども子育てを地域で支えあう環境作りとして、自主的な活動を行っている子育てグループを支援するためにニーズを把握し、様々なかたちでの後方支援を行う。							
実施期間	事業開始年度	事業終了年度	予算中事業	総合的な子ども・子育て支援事業費				
	平成27年度	—						
地域の課題と現状	核家族化の進行や地域との関わり希薄化などにより、子育て家庭の孤立化が進み、子育てに対する不安感や負担感が広がっているため、地域で子育てを支えている子育てグループや子育てサロン等への活動支援を行い、地域の子育て力向上を図る必要がある。							
予決算 (単位:千円)	年度	H27年度		H28年度		H29年度		
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	
	事業費	1,040	992	310	259	153	130	
	財源内訳	国庫支出金						
		市債						
その他特財 一般財源		1,040	992	310	259	153	130	

計画 (Plan)

事業の目的	地域で孤立することなく、安心して子育てできる仕組みとして、在宅で子育てをしている保護者を対象に、同じような年齢の子どもを持つ母親が自主的に運営している地域で子育てを支えている子育てグループや子育てサロン等の活動を支援し、地域の子育て力向上を図る。
今年度の事業の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ①子育てグループの活動を周知し、情報交換をする交流会「きっとみつかると楽しい仲間」を年1回開催する。 ②グループのニーズを把握するための見学会の開催を年5回以上実施する。 ③大型遊具等の貸し出しを通じた子育てグループの活動支援を行う。 ④子育てグループを紹介するリーフレットを作成し、区内各施設、子育て関連事業で配布する。 ⑤子育てグループ活動のアイデアを提供するための研修会を年2回開催する。

実施結果 (Do)

上記取組内容に対する達成度	3	<ul style="list-style-type: none"> <li style="width: 50%;">1. 目標を大きく上回って達成 <li style="width: 50%;">4. 目標を下回った <li style="width: 50%;">2. 目標を上回って達成 <li style="width: 50%;">5. 目標を大きく下回った <li style="width: 50%;">3. ほぼ目標どおり 					
取組内容の実績等	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てグループの活動を周知し、情報交換をする交流会「きっとみつかると楽しい仲間」を6月に開催した。 ・グループのニーズを把握するための見学会の開催を年5回実施した。 ・子育てグループの活動を支援する遊具貸し出しを延べ36団体に実施した。 ・子育てグループを紹介するリーフレットを500部作成した。 ・子育てグループ活動内容の情報を提供するための研修会及び支援者向け研修会を年2回開催した。 						
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標	H27年度	H28年度	H29年度	単位	
	1	成果指標	子育て交流会「きっとみつかると楽しい仲間」の開催(参加者)	119	133	86	人
			目標	100	100	100	
	2	活動指標	子育てグループ見学会の実施(回)	0	8	5	回
			目標	3	5	5	
3	成果指標	子育てグループへの研修会実施(参加者)	31	83	59	人	
		目標	50	50	50		
4	活動指標	貸し出し遊具事業(のべ貸し出し団体)	22	43	36	団体	
		目標	30	30	30		

評価 (Check)

事業を取り巻く社会環境の変化	・地域包括ケアシステムの理念のもと、地域の子育て力の向上に向けた支援体制は必要である。		
事業の見直し・改善内容	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成 29 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(平成 年度から)		
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載	子育て交流会事業委託を直営に戻すことで、より効率的な事業実施を行った。		
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	・子育て力向上のため地域の子育て支援者、子育てサークルへの後方支援が必要。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	・事業を継続していることで区民に周知され成果も上がっている。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	a
	評価の理由	子育て交流会実行委員会である「高津の子育てを支える仲間の会」とネットワーク会議「子育てグループ支援部会」が連携し、円滑に事業を実施している。	

改善 (Action)

今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	I	地域包括ケアシステムの構築に向け、子育て世代の育児力の向上や地域の子育て支援者の育成は必要であると考えられることから、事業の目的や方向性を維持、継続していくことが適切であるとする。

平成29年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
58	05	25	26	15	35	高津区待機児童対策推進事業費			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			675150		児童家庭課		久保	64873	

事業の概要									
事業の概要		従前の紙媒体や市ホームページ上で提供してきた保育所に関する情報の充実を図り、個々のニーズにより適合した保育所の選択が可能となるよう、映像を用いた保育園案内(紹介)資料及び保育所施設マップの作成により、情報の充実化を図る。							
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業		総合的な子ども・子育て支援事業費			
		平成27年度	—						
地域の課題と現状		社会保障と税の一体改革に伴う「子ども・子育て支援新制度」が平成27年度からスタートしたことにより、市町村においても、子育て家庭のニーズに応じた子育て支援に関する情報を提供していくことが求められている。本市においても、待機児童解消を目指していく上で、利用者にとって必要な情報をより効果的に提供していくことが必要となっている。							
予決算 (単位:千円)		年度		H27年度		H28年度		H29年度	
				予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
		事業費		1,573	1,573	886	832	594	569
財源内訳		国庫支出金							
		市債							
		その他特財							
		一般財源		1,573	1,573	886	832	594	569

計画 (Plan)	
事業の目的	利用者が個々のニーズにより適合した保育所の選択が可能となるよう、情報提供の充実化を図る。
今年度の事業の取組内容	区内認可保育園及び川崎認定保育園等の施設紹介映像(90秒/園)の制作と動画投稿サイト(川崎チャンネル)への投稿による情報提供。高津区子育て施設マップ(改訂版)の作成。

実施結果 (Do)							
上記取組内容に対する達成度	3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり	4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った			
取組内容の実績等	区内保育園7園(認可1園・小規模2園・川崎認定4園)について施設紹介動画(90秒/園)を制作し、10月に動画投稿サイト(川崎チャンネル)に投稿・公開した。また、区内の保育施設を示したマップを製作し、新年度の保育園利用案内と併せて配布した。作成したマップは、例年不足しているため、必要枚数を精査して部数を増加して作成した。						
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標		H27年度	H28年度	H29年度	単位
	1 活動指標	区内保育園の施設紹介動画の制作と動画投稿サイトでの公開		目標 実績	17 17	7 7	園
	2 活動指標	高津区子育て施設マップの作成		目標 実績	3,000 2,000	3,000 3,500	部
	3			目標 実績			
	4			目標 実績			

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化	H29年度に策定された国の新たなプラン(子育て安心プラン)に、遅くともH32年度末までに全国の待機児童を解消することが盛り込まれた。このような中、本市においては、認可保育所等への申請者数は増加傾向にあり、高津区は中原区に次いで2番目に多く、また、入所保留者数も中原区に次いで2番目に多くなっている。このため、認可保育所等だけでなく、認可外保育所(川崎認定保育園)も含めたマッチングが重要となっている。		
事業の見直し・改善内容	■ 実施 (直近) 平成 29 年度 □ 今後実施(平成 年度から)		
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載	H29年4月から新たに認可保育所へ入園した児童のうち最もクラス年齢が低いクラスの世帯に対して、保育園施設紹介動画に関するアンケート調査を実施した結果、紹介動画を「知っている人」が65%、「知らない人」が35%であることから動画の認知度の向上が課題である。		
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	認可保育所等への申請者数は増加傾向にあり、事業ニーズは高いと考えられる。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	動画投稿サイトにおける累計再生回数は86,000回を超え、増加傾向にあること、保育園施設紹介動画に関するアンケート調査では、視聴した方のうち、90%の人が「分かりやすかった」と回答したことから一定の効果があつたと考えられる。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	a
	評価の理由	仕様については、既に見直しを行い必要最低限の内容としているため、事務改善の可能性はあまりないと考えられる。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	I
実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性 認可保育所等の申請者数が増加傾向にあり、それに伴い保育所等も増加していることから、引き続き事業を実施していく。また、保育園入所に係る窓口相談や4月入所の説明会等の機会を捉えて動画の周知を着実に実施する。		

平成29年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	05	26	15	40	こども未来事業費			
担当			所属コード		所属名			担当者	連絡先
			675000		地域ケア推進担当/保育所等・地域連携担当			飯村/中野	64813/64853

事業の概要							
事業の概要		高津区の地域特性を踏まえ、さまざまな地域資源を活用しながら、ものづくりや多様な人との交流の機会を設け、子どもたちの健やかな成長を支援する。 木との触れ合いの機会の提供を通じ、感性豊かな心の発達を促すとともに、森林や環境問題への理解を育む。					
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業	総合的な子ども・子育て支援事業費		
		平成28年度	—				
地域の課題と現状		これまで子ども居場所作りや学習支援等の事業を実施してきたが、子どもを取り巻く環境は多様化、複雑化しており、既存の支援組織に加え地域での見守りのネットワークを更に密にすることで、子ども一人ひとりが活躍できる場を増やすことが求められている。					
予決算 (単位:千円)		年度	H27年度		H28年度		H29年度
		事業費	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額
			0	0	429	346	451
財源内訳		国庫支出金					
		市債					
		その他特財					
		一般財源	0	0	429	346	451
							338

計画 (Plan)	
事業の目的	子どもたちが地域の中で、さまざまな体験や多様な人との交流をすることで、自身の将来や地域社会を理解し、つながりを感じるきっかけをつくり、多世代交流を推進する。 国産木や自然の素材に触れ、子どもの豊かな感性を育む。
今年度の事業の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> こども未来体験事業…高津ものまちづくり会と区内小学校との協働によりものづくり技術の体験等 多世代交流事業…多様な年齢、地域での交流を実施 木育推進事業…木製遊具を通じ、木材に親しむ機会を創出

実施結果 (Do)							
上記取組内容に対する達成度		3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った				
取組内容の実績等		・こども未来体験事業は、ものづくり体験として新作小5年生76名を対象に、事前学習を11月30日、町工場の見学を12月7日に実施した。 ・多世代交流事業は、多世代交流として子母口子ども文化センター、いこいの家で9回、区役所市民ホールで6回、上作延子ども文化センター、いこいの家3回、高津いこいの家で1回、くじいこいの家で1回実施した。 ・木育推進事業は、区民木育体験、多世代交流として「バックチャーム作り」「もくもくパーク」を実施した					
数値で把握することが可能な取組		指標分類	指標	H27年度	H28年度	H29年度	単位
1	成果指標	こども未来体験事業(参加者)	目標	50	80	人	
			実績	50	76		
	活動指標	ビープルデザイン体験事業	目標	7	24	回	
			実績	8	20		
3	活動指標	木育推進事業	目標	6	6	回	
			実績	7	8		
4			目標				
			実績				

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		少子化、共働き世帯の増加、コミュニティ意識の低下等により、地域で多様な人と関わる機会が減少している。またプラスチックや金属素材の製品が多くを占めるようになり、木に触れたり見たりする機会も減少している。	
事業の見直し・改善内容		<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(平成 年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載			
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	少子化、共働き世帯の増加、コミュニティ意識の低下等により、地域で多様な人と関わる機会が減少している。またプラスチックや金属素材の製品が多くを占めるようになり、木に触れたり見たりする機会も減少している。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	ものづくり技術の体験や、多様な人との交流、木とのふれあいの機会の提供を通じ、進路や職業の選択肢を広げ、こころのバリアフリーを推進し、感性豊かな心の発達を促すと共に、森林や環境問題への理解を育むことが出来た。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	現在の事業執行体制は適当であるが、市民の自発的参加に取り組み、意識向上を図る必要性はある。	

改善 (Action)			
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II	次代を担う子ども達が、将来に向かって夢と希望を持ち、伸びやかに成長できるよう、様々な地域資源を活用した事業を行う。多世代交流事業、木育推進事業は取組める場所や機会を拡大する。